

子どもに生きる学校評価システム

京都市立翔鸞小学校

1. 学校評価のねらい

学校の教育活動は、地域や子どもの実態をふまえ、創意ある取組を展開しなければならない。これらの取組を充実させるためには、学校・家庭・地域が教育活動の成果と課題を共有し、それぞれの教育力を発揮して、子どもに関わっていくことが求められている。

そこで、学校教育目標の達成状況を、教職員や保護者・児童・地域住民が客観的に評価し、その結果に基づいて改善策をたて、学校教育活動の充実・向上を図るために学校評価を実施している。

(1) 自己評価

- ・ 自己目標及び学級経営案に基づき、子どもたちの実態や教育活動の進捗状況について点検・評価を行い、成果と課題を明らかにし、課題解決に向けて方策を検討し、具体的な取組につなげる。
- ・ 外部評価と自己評価のずれの要因を考察し、学校教育に対する考え方を見直す契機とする。

(2) 外部評価

- ・ 保護者・地域の方及び児童の願いや期待を的確に把握し、学校運営に反映させる。
- ・ 外部からの客観的な評価を得ることで、学校のもっている課題を明確にし、学校に何を求められているのかということを知り、教職員の意識改革につなげていく。
- ・ 学校評価を通して学校・保護者・地域それぞれの果たすべき役割を認識し、連携を図りながら子どもたちにとってよりよい教育環境作りの一助とする。

2. 年間計画（自己評価と外部評価の関連と1年間の流れ）

月	自己評価	外部評価
4 5	学校教育目標設定 自己目標設定・学級経営案作成 個々の児童に対する具体的取組案作成 職員会議で学校評価システムについて共通理解	学校評価委員会 学校評価アンケート・児童へのアンケート 項目の検討
6	学校評価委員会 自己評価カード検討	学校評議員会 顔合わせ、学校評価システムの概要説明 学校評価アンケートの説明・項目の検討 職員会議で学校評価アンケートについて共通理解 学校評価アンケートの実施（日曜参観後）
7	職員会議で自己評価カードについて共通理解 自己評価カードの記入 ヒアリング 学級経営案の見直し	学校評価アンケートの集約 児童へのアンケート実施・集約 学校評議員各自からの意見具申

	<p>学校評価委員会</p> <p>学校評価の結果分析・課題の検討</p> <p>学校評価の結果公表（学校便り・学校ホームページで）</p>	
8		学校評議委員会
1		学校評価アンケートの実施（自由参観後）
2	<p>自己評価カードの記入（年間の成果と課題）</p> <p>ヒアリング</p> <p>次年度の自己の課題を明確にする</p>	<p>研究発表会アンケート（地域の方）</p> <p>学校評価アンケートの集約</p> <p>児童へのアンケート実施・集約</p> <p>学校評議員各自からの意見具申</p>
3	<p>学校評価委員会</p> <p>学校評価の結果分析・次年度の課題設定</p> <p>学校評価の結果公表（学校便り・学校ホームページで）</p>	学校評議員会（年間の成果と課題）

学校評価システムのガイドライン

